

新年号



介護あんしん 相談員だより

第32号 平成30年1月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

明けましておめでとうございます。
昨年は、介護あんしん相談員の受け入れに
ご理解いただきまして、ありがとうございました。
本年もよろしくお願いいたします。

介護あんしん相談員は橋渡しをする事を目的としています！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、
直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。
介護あんしん相談員はご本人やそのご家族が施設職員に直接
は言いにくいことをお聞きしたり、客観的な目で見えづいた
りした点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。



利用者さんや介護あんしん相談員の声からいくつか紹介します
(平成29年10月・11月)



～介護あんしん相談員の声より～

相談員：Eさんは先月よりお元気になられていて安心しました。

施設：先月は歯のトラブルから落ち込み気味でしたが、歯科受診をして歯の状態
が落ち着いているので、気持ちも上向きになり元気になられたようです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



相談員が訪問時には、ちょうど看護師さんが足の処置をされていて、「この人にはよく
してもらっているんよ。」と言われると「そう言ってもらえて嬉しいです。」との会話をさ
れていて、とても良いコミュニケーションを取られているようでした。

先月は「寂しい。」と言われていて、歯のトラブルから気持ちが落ち込み気味でしたが、
歯科受診をして歯の状態が落ち着いてきて、気持ちも上向きになり元気になられたよう
です。高齢者は特に、お口の環境は身体と心に直接影響があるようですね。痛みがあつたら
食事量が減り、歯の本数が少ないと野菜や果物などが食べにくく、炭水化物の量が増え、
肥満なのに栄養失調になり、栄養バランスがくずれてしまう事もあるようです。
また、食事の影響で便秘になり不快になったり、小さなお口ですが影響力“大”です。

相談員：「さくらの会」でO氏が三味線を弾きながら、しっかりした声で、長い曲を
10曲ほど歌われ感動しました。

施設：集団リハビリの一環で、入所者の方や外部の方の演奏・催しをされる機会
があり、今日は三味線が得意なO氏に演奏をして頂きました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



こちらの施設では理学療法士さんの発案で「さくらの会」を毎週金曜日に、各フロア
毎に開催され、先生や医学生、地域の方との触れ合いも兼ねて、多くのボランティアの方
にも来て頂いているという事です。

O様は「病気が上がりで練習しとらんし、声もよくでらん。」と言われましたが、とても
しっかりした声で素晴らしい演奏と歌だったようです。

また、9月の会では、T様がピアノを教えておられる娘さんのキーボードで、歌をうた
われ、その時に娘さんと写られた笑顔の写真が展示されているそうです。

施設では入居者の方も張り合いがあり、楽しみにされているようです。「良かった」と
言ってもらえるのが嬉しいということでした。

施設ではお忙しい業務の中、準備等大変だと思います。ありがとうございます。



～利用者さんの声より～

利用者：「また来てください。お願いします。ありがとうございます。」

施設：だんだん発語が少なくなっておられる方です。スタッフの声かけには応じ
ることが少なく、なかなか話をされずビクビクしました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合より】



居室で臥床されていた方の目が開いていたので介護あんしん相談員さんが声をかけら
れたそうです。声は出しにくそうでしたが、ゆっくりとお話しをされたそうです。施設の
スタッフさんも、食事の前後に声掛けし発語を促されていたのですが、なかなか言葉が出
ないことが多かったそうです。

今回のことで、相談員も見た目だけで会話は難しいのかと判断せず、皆さんに話しかけ
てみるのが大事だと感じられたそうです。

やはり人と接する基本は「謙虚さ」です。上手く会話が出来なくても、笑顔で声をかけ
てもらえる事はとても嬉しいのではないのでしょうか。施設でも今後は皆で益々声掛けし、
発語を促していきたいという事でした。よろしくお願いいたします。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧する
ことができます。ご利用ください。